

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月6日(日)⑤

担当部局・担当課名: 厚生部子ども家庭室

事業名	第4子以上誕生祝い事業費	評価結果	抜本的改善
-----	--------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・少子化対策は極めて重要なので、効果のある施策であれば拡充してでもやってくべき。
- ・既に市町村の類似事業がある中で、限られた財源の中で県がやる意義をどこに見出すのか。
- ・第何子かで区別をするのはいかがなものか。また、このまま継続していくと施設側の負担も増す。
- ・一旦ここでこの制度を今後続けてもいいのかという議論を行い、ゼロベースで考え直してはどうか。

【県民評価者の意見】

- ・市町村で同じような事業をやられており、県は他の事業を優先した方がよい。
- ・「子どもがたくさんいると楽しい」という価値観を県が持っていることをしんどく感じる人もいる。
- ・第4子以上に特定する理由がわからない。経済的に余裕のない家庭も支援できる施策がもっとあればよい。
- ・現状では第2子すら考える余裕がない中で、第4子以上は現実味がない。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

21

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (第4子に限定した本 事業は廃止)	役割分担 見直し (市町村・国で実施)	抜本的改善 (対象年齢の変更、施 設負担割合)	一部改善	現行どおり ・拡充 (第3子等対象を拡充)
	6	3	10	1	1

県民評価者の 主な コメント	評価結果と 同じ評価	【抜本的改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代全体が利益を得られる方法があれば良い。 ・対象者を第4子以上の世帯とする意義がいまいち感じられない。 ・利用料の減免分を施設側の負担にするのはいかがなものか。 ・対象施設に県立施設がたくさんあるが、実際に利用されない施設もあるのではないかと。(カヌー、カヤック、射撃等) ・少子化対策として、産みやすい、育てやすい環境を作る必要はあると思うが、家族全員は違うのではないかと。 ・対象者が増えた場合にどのように対策をするのかという問題が解決していないため将来性が不安。
	上記以外	【行政の関与不要】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4子以上を出産・子育てできる家庭は限られるのではないかと。もっと支援のハードルを下げたほうがよいのではないかと。 ・第1子からの実施が難しいのであれば(事務的にも、費用負担的にも)一旦、事業自体を見直し、他の施策を拡充すべき。 【役割分担見直し】 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が実施するか、国が実施。 【一部改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者が少なすぎる。事務負担が大きいのであれば、一部外注も検討してはどうか。 【現行どおり・拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3子以上を対象とすべき。

【参考】委員による評価

委員総数

4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	4	0	0	0	0